

暑中お見舞い申し上げます



(深田地区で5月31日創業開始した協同組合くまもと製材)

「協同組合くまもと製材」

いよいよ稼働

地域の林業・木材産業  
の活性化・森林の公益  
的機能の維持増進が期  
待されます。

No.19  
H20.7.30 発行

議会だより



あさぎり

町民の声  
青年団を理解して

16  
P

第一回定例会  
一般会計総額  
九十億二千四万円

14  
～  
15  
P

補正予算  
国保会計へ三千万円  
繰り出し

12  
～  
13  
P

条例改正  
ふるさと寄附条例  
スタート

12  
P

一般質問  
十一名が登壇

6  
P

議員紹介  
十八名の顔ふれ

2  
P

# 議 員 紹 介



白髪岳より全町を望む

四月二十七日、あさぎり町が合併して第二回目の町議会議員選挙が行われました。

今回から定数が変わり十八名の顔ぶれが決まりました。

五月十三日に臨時議会が開催され、議長、副議長を選出するとともに常任委員会及び一部事務組合議会等の新構成が決定いたしましたので、ご紹介します。

## 信頼される議会を目指して

議長 橋爪 和彦



我が町は、少子高齢化と過

疎化の進行は否めず、財政状況も厳しく、合併前に描かれた「ばら色」の新町建設計画の大半が未実現のまま、多くの

課題に直面しています。そんな背景の中、執行部は、今後五年間の町政の指針となる「基本計画」を策定し改革を図っています。このように、町にとつて重大な局面で議長に選任いただき、責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、地方分権時代を迎えて、地方議会の役割も極めて広範囲になり責任の度合いも更に重くなりました。最終決

## 負担の少ない町づくり

副議長 宮原 盛幸



うが、どうしようもないくやしさがありません。今回の国民健康保険税の増額も医療費の伸びによるものであり一般会計からの繰り入れも限度が感じられます。

「負担の少ない町づくり」を議員に初当選して以来、それを目指し議員活動を行っていきます。しかし自治体がどう努力しても難しい問題が多く現代社会の構造的なものでし

議員は選挙で選ばれた町民の代弁者であり、行政をチェックし、議案を議決することと共に、議員自身が、条例等を制定し実行に移すことも大事な事だと考えています。

あさぎり町は合併した時か

定機関として、合法で最善のものを運び取る厳しいチェックと決定に際しての透明性及び説明責任の確保が今まで以上に求められていますし、こうした役割を十分に担えるだけの資質と能力を備えることも必要条件です。そのためには、先ず、出来ることから「議会改革」に取り組み、町民各位から信頼される議会づくりを目指して、精一杯頑張っていく所存です。

皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

ら多額の起債(借金)と少ない基金(貯金)という重荷を背負っての船出でした。ですから常に健全財政に向かって進んで行かねばなりません。その中で町に明るい未来と夢を与える施策を執行部と丁々発止と議論を交わしながら実行したいと考えています。

今回、副議長に選出していただきました。議長や議員各位と共に開かれた議会にしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

# 常任委員会等の新構成

## 建設経済常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
豊永隆一	岩水国昭	桼山保	奥田公人	山口和幸	永井英治

## 厚生常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
田原健一	久保田久男	愛甲利孝	皆越てる子	溝口峰男	小見田和行

## 総務文教常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
浦本秀正	桑原武夫	淵田勇一	橋爪和彦	宮原盛幸	緒方勇二

## 一部事務組合議会

公立多良木病院組合議員  
浦本 秀正・桼山 保・奥田 公人  
豊永 隆一・久保田 久男

人吉球磨広域行政組合議員  
溝口 峰男・山口 和幸  
桑原 武夫・緒方 勇二

上球磨消防組合議員  
田原 健一・小見田 和行・永井 英治

川辺川土地改良事業組合議員  
愛甲 利孝・岩水 国昭

## 監査委員議会選出

淵田 勇一

## 広報調査特別委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
淵田 勇一	愛甲 利孝	皆越 てる子	山口 和幸	緒方 勇二	永井 英治

## 議会運営委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
久保田 久男	岩水 国昭	浦本 秀正	田原 健一	豊永 隆一	桑原 武夫



## 総務文教常任委員会のご紹介

委員長 浦本 秀正

総務文教の担当所管課は

- ①総務課に関する事務
  - ②税務課に関する事務
  - ③会計課に関する事務
  - ④選挙管理委員会に関する事務
  - ⑤監査委員に関する事務
  - ⑥教育委員会に関する事務
  - ⑦他の常任委員会に属しない事務
- となっています。

六月議会後の閉会中には、町民の関心のたかい、中学校の統合問題や、税務課が現在実施中の全家屋を対象とした全棟調査などを審議しました。委員会は六人で構成され、全員の実績と経験でがんばります。



岩水 国昭

「こんにちは」

深田地区出身の  
岩水国昭です。

議席を与えてい

ただき、心新たにあさぎり町発展のため、頑張る決意をしている所です。現在農業を中心とした、地場産業の育成振興、均衡ある町づくりをとの声が多く聞かれています。町民の声が生かされる様努力して行かなければと思っています。又山積する課題については、これまで同様、是々非々の姿勢を貫きたい。

## 厚生常任委員会のご紹介

委員長 田原 健一

一、所管：

町民課、健康福祉課に関する事務

二、所管が管理する主な施設

○コミュニケーションセンター

(ヘルシーランド、岡原ふれあい福祉センター、白寿荘、高山荘など)

○公立保育所

(須恵・岡原・上第一・上第二)

○救護施設しらがね寮

三、町内委員会等：

国保運営協議会

社会福祉協議会



永井 英治

夢ふくらむあ

ささぎり町。夢が

ふくらみいつか

花を咲かせる時

が来る事を願い、新人議員として頑張る所存です。全てにおいて都会より格差のある地方にあり、地場産業の振興、教育の充実、健全な町財政を目指し、住民の目線に立ち取り組んでいきます。議会では、「和して同ぜず」の精神で臨みますので今後ともよろしくお願ひします。

## 建設経済常任委員会のご紹介

委員長 豊永 隆一

「建設経済常任委員会」は町の環境整備課、産業振興課及び農業委員会の事務に関する調査を行い、議案、請願、陳情等を審査します。

さらに、議会の議決により付議された特定の事件については、閉会中も審査することが出来ます。

今年度は、去る七月八日に環境整備課が公共工事を施工する場所や産業振興課が実施する立木の伐採箇所及び新規作物の試験栽培状況を調査、視察を実施しました。



桑原 武夫

あさぎり町は、

対等合併した町、

全地域が潤う均

衡ある発展が大

事。又、議員活動は、どんな身近な問題でも地域住民の意見を聞き議会に反映するのが大事。地元では活躍する人材育成を目指し若者が地域を愛し、あさぎり町に一人でも多く安心して定住できる様な環境づくりが不可欠。



緒方 勇二

免田地区の緒

方勇二です。

今、社会保障

制度(年金・医療・

介護)の基盤が大きく揺らいでいます。これらを支える現役世代が大変厳しい状況(雇用が無く、所得減少等)に置かれています。雇用の維持と創出が喫緊の課題と考えます。教育・青少年・技能者の育成、農林商工業の振興に頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



試験栽培中の三島柴胡(みしまさいこ)



奥田 公人

今期は、「人と自然にやさしく活力ある町づくり」をスローガ

ンに掲げ、取り組んで参ります。

現下の厳しい経済環境の中で、農林業や商工業の振興、雇用の拡大を図る政策が必要であると思います。その為には、町民の皆様方の代弁者として、町の更なる発展と明るい未来を確信し、精一杯努めます。



豊永 隆一

私の理想は、徹底した話し合いと議論とおし

て、住民の声が生き活きと町政に反映される「町づくり」です。

その為には、住民と行政の情報の共有が必要条件になります。町の予算書・決算書・中・長期財政計画書の販売やホームページへの掲載等の情報公開による透明性の高い町政運営を求めて行きたいと考えています。



瀧田 勇一

議会議員として再選に浴し「公正清敬」の初心を忘れず気を引き

締め、努力点四本柱を基本に町民の負託に応えてまいります。

①常に問題意識を持つて、町を歩き、住民とふれ合う努力。②一部地域のみでなく全体的視野で判断行動する努力。③民意をもつて政策として実現化に向けて代弁する努力。④財政の実態を把握し財政健全化への努力。



愛甲 利孝

あさぎり町では、今、中学校の統合問題、国民健康保険の問題、原

油高騰による生産資材の値上がり問題など、大きな課題が山積みしています。

私達は、子々孫々の世までこの郷土を引き継いでいくために、今、何をしなければならぬか、真剣に考え、それを行動に移していかなければなりません。あさぎり町のため、頑張ります。



小見田 和行

若者が残れず、少子高齢化社会は進んでいます。

農林業・商工業

が連携し、未利用の地域資源に注目し、それらの商品開発を進めていき、地域全体の所得向上や、雇用確保を図りたいと思います。ひと・機械・土地・技をうまくつなぎ合わせる仕組みを作り、ムダ・ムリのない活気ある町づくりを目指したいと思います。



山口 和幸

町民の皆様が、自然豊かで・人情味豊かなあさぎり町に生まれ

てよかった・育つてよかった・住んでよかったと幸せを実感していただく町作りの為、一票の重みを忘れることなく、三十七年間の行政経験を生かし、地域と行政のパイプ役に徹し、生活者の視点・目線で地域の課題・問題点克服に取り組んでまいりたいと考えております。



田原 健一

議員として期を重ねることに、職責を全うするための責任を強

く感じております。これからは単なるパイプ役にとどまることなく、きびしい財政状況をふまえ、議員発議等を通し、執行部とともに知恵を出し合い、諸懸案事項の解決、実現に努めてまいります。



皆越 てる子

上地区出身の皆様でる子でございます。町議の一人として「元氣

のぞる・夢ふくらむ町づくり」に、任期四年間微力ながら努力して参りますので、お気軽に声をかけて頂きますと共に、あさぎりの大地に、腰を据え、一人の人間としても成長しなければと考えていますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



## 議員各位の検討議論を待つ

刈田 勇一 議員

(上)

**問** 公立多良木病院増改築に伴う財政問題について。事業費三十億円、内十五億円を構成町村が過疎債を肩代わり借入してもらい、償還金については交付税による財政措置がなされない三十%の分を病院の利益から補填する事で、町

**問** 公立病院は来年初立百三十年を迎える地域中核病院である。老健施設を備えた内容は地域に大きく貢献しているのではありません。是非設備充実を図るためこの事業を成功させてほしいと願っている。ところが

**問** 次に行政財政改革推進の評価と今後の進め方は。  
**町長** 集中改革プランを定め職員の意識改革、定数管理、財源確保、事務事業等見直しに取り組み、十六年を基準に二十年度まで累積効果は二十三億九千八百万

**問** 町長は改革を推進するため自ら給与二十%削減し意気込みを見せた、その給与削減の終期の予定はいつか。  
また、議員報酬削減も考えられるが見直しにどのように認識しておられるか。  
**町長** 自分の給与は任期中と考える。議員報酬については自分からは述べられない。議会で検討議論して欲しい。  
**問** 意見として議員も自らの報酬を見直す必要がある、検討のため、議会全員協議会にて協議できるよう議長に申し入れたい。

## 議員報酬削減

## 町長の考えは

員、公立多良木病院組合議会議員になりました。財政厳しい中でも町発展の為に知恵と汗を出し対話。行動。活力(特に基幹産業である農林業の振興)に勤めたい。又遊休施設(特に旧須恵、岡原、上村の庁舎、今後中学校統合による廃校)をいかに活用すべきか、取り組んでいきたい。



榎山 保  
今迄議選監査委員からこの度の改選に於いて建設経済常任委



浦本 秀正  
三十五年ほど前から子ども会活動に関わり、ボイスカウト

設立や少年補導員など青少年育成の活動を続けています。  
これらの経験や実績を活かした子育て支援ができないかと常に努力しています。  
又、詩吟や民謡を好み、桃や盆栽、古代の米づくりの趣味の中にも住民の交流や、生活の安定に役立つ事はないかと考えています。



溝口 峰男  
六期目に挑み「初心を忘れず、自らの政治理念と議員の役割を

自覚し、町政に皆様の声をしっかりと届け、将来の方向性を明確に示して行動する」と皆様に、約束しました。私は、厳しい今だからこそ、知恵が必要であり行動が要求されると思います。  
皆様との約束を果たすために全力投球して参ります。



久保田 久男  
「安心と活気あふれるあさぎり町へ」  
町民が主役で

あることを常にモットーに町民の幸せの追求が我々議会の仕事だと思います。執行部との議論はもちろんですが、議員同志の議論をもっと深めながら、議案に対する合意形成を計っていく必要があると思います。今年四年間精一杯努力する所存です。町民の皆様方の御指導、御協力の程宜しく願います。

円を示した。

**問** 町長は改革を推進するため自ら給与二十%削減し意気込みを見せた、その給与削減の終期の予定はいつか。

また、議員報酬削減も考えられるが見直しにどのように認識しておられるか。

**町長** 自分の給与は任期中と考える。議員報酬については自分からは述べられない。議会で検討議論して欲しい。

**問** 意見として議員も自らの報酬を見直す必要がある、検討のため、議会全員協議会にて協議できるよう議長に申し入れたい。



## 情報基盤整備について

二十二年度までには実現したい

田原 健一 議員

(免田)



問Ⅱあさぎり町において、未だにブロードバンドを利用できない地域があることについて町長の所感は。

町長Ⅱブロードバンドの環境については、若者が残れる町づくりを掲げていく中で、企業誘致、ネットを通してこの

農産物の販売などいろんなことに取り組んでいくためには、通信網の整備は非常に大事なことで、四五局番の交換局から5km以上の地域と四七局のインターネット接続環境をどうやっていくかが今後の大きな取り組みであると認識している。

問Ⅱ施政方針で述べられた地域情報化施設の整備に向けた基本計画策定を踏まえ、いつまでに、どのように整備されていく考えなのか。

町長Ⅱ情報基盤整備委託料を認めていただいているので、今年度中にどの方式でやった

## あさぎり町の再生を

農業が元気だせる取り組み

愛甲 利孝 議員

(須恵)



問Ⅱあさぎり町の人口は、五年ごとに千人づつ減っていき、二十年後は一万三千人程になっているという推計があります。少子高齢社会の現状と将来をどうとらえ、その対策をどうするか。

町長Ⅱ非常に大きな課題でこ

ざいます。私が今見ている、そして生活の実感としては予想以上に厳しい現実だな

と思っています。国レベルでも、この動きに対して何らかの大きな手を打っていただかないとなかなかその実現はむづかしい。若い人達としっかり向き合って、機会をとらえて意見交換しながら、若者が踏みとどまる取り組みをしていきたい。

問Ⅱ団魂の世代が三百人、その子供の世代は二百人になっています。これが第二ピーブームの世代です。ところがそのあとの高校を卒業した年

方が一番安く出来るか調査検討したい。その際、国の援助措置などを考慮して近隣町村と一緒にやれないかということも合わせて検討し、財政の問題、通信環境の変化などを見極めながら二十二年度には実現したい。

問Ⅱ上球磨消防組合構成四か町村でのシステム一元化構想の進捗状況は。

町長Ⅱ昨年から検討してきたが、消防指令台の更新が急を要し、今年度で整備することになった。各町村の設備の状況がそれぞれ異なっていることもあり、先に指令台を整備

代の若者は、百人をきつています。若者が定住できるような働く場の確保、所得の確保をどのようにやっていくか。

町長Ⅱ基幹産業である農業の方が元気が出せる取り組みをやっていききたい。まず地元で今持っている仕事を元気にどうやってできるかということだろうと思います。それから短期間でやれるのは交流人口を増やして、少しでも町の方に税金が回っていくそういつた取り組みをしたい。

企業誘致は、人吉球磨の市町村が一緒になって動きだしている。

して、そのあと追っかけて的に各町村の事情により整備していくこともやむを得ないと考える。

## 町民表彰制度の創設について

前向きに検討する

問Ⅱ「表彰規定」を設けて、町の発展に功績のあった人及び町民の模範となる人を顕彰したかどうか。

町長Ⅱ名誉町民条例はあるが、議員提案に該当するものがないので、経費もほとんど伴わないことでもあり、前向きに検討する。

問Ⅱ合併して六年目を迎えていますがいわゆる周辺部をいわれているところでは寂しい状況になっています。子育て環境は次第次第に悪くなっている状況です。今回、中学校の統合問題が大詰め段階に来ております。この統合問題を含めて子育てしやすい環境とは。町長Ⅱ地区で子供を育てる環境ができてること。安心安全に通学できること。学校で伸び伸びと勉学やスポーツ活動が出来ることが基本です。学校統合は、七月を目途に町の方角を決める。

## 健全財政のために

### 最大限努力する



宮原 盛幸 議員

(岡原)

**問** 健全な財政にするためには起債を減らして基金を積み立てることは言うまでもない。私は平成十八年の十二月定例会で合併の特例による起金積立について質問した。その時の答弁で十年間で最大二十億円の基金を積み立てることがで

きる。

これは起債だが七割が交付金で補てんされ十四億円がくる。この制度を利用して基金も増額したい、と答えられた。私はそれが出来るなら最もよい合併特例債の利用法と感じた。町長が代わられても行政は継続性も必要である。現在はどうなっているのか。これから先、利用されるのか。

**町長** 活用して最大限の金の積み立てをする方向で進めている。

**総務課長** 今後着手する中、長期計画の中で十分議論しながらやっていきたい。

**問** 現在の起債を特例のある

## 古民具の責任所在はどこにあるか

### 教育委員会で管理中だから町にある



浦本 秀正 議員

(免田)

**問** 旧岡原役場に保管中の古民具は旧中球磨農協本所から、免田駅近くの農協倉庫石蔵、旧大正町公民館、畜産センター、そして現在は旧岡原役場と転々としているが、保管の責任所在はどこにあるか。

**教育課長** 教育委員会で管理

しているの町にあると思う。

**問** 民具の会の実現要項の中に「文化協会の主催事業とし、あさぎり町教育委員会の協力のもと……」とあるが。

**教育課長** 民具の会を教育委員会が協力する事だと思う。

**問** 事業の内容として民具台帳の作製、民具の修理使用方法記録、展示活用もあるが。

**教育課長** 台帳を作ったり、修理したりするのは町当局の責任で行い奉仕として手伝っていただく趣旨である。

**問** 台帳作製等あくまでも主は教育委員会や行政であり、手伝う方が民具の会では。

文章の場合は後々まで記録

うちに少しでも減らしておく

ことが必要である。繰上償還の計画はどうなっているのか。

**総務課長** 十九年度でポツポツ建設債の全額繰上償還として二億二千八百一十

円。免田中学校屋内運動場建設、岡原中学校用地購入にかかる起債の全額繰上

げ九百三十三万円。二十年度で学校、公営住宅災害関連事業にかかる地方債で四千七百六十万円の全額繰上げを計画している。

**問** 中学校の統合が予定されているが統合によって閉鎖される跡地はどう利用されるのか。人が集まらなくなると衰

が残るので検討することはないか。

**教育課長** 誤解を招く記述もあるので検討させて頂きたい。

**問** 近年、グリーンツーリズムなどで来町者が増えている。

免田式土器や鍔金獣帯鏡などあさぎり町から出土しているの研究者もたびたび来られると聞く。町のイメージアップのために今後の活用は。

**教育課長** 民具の活用では小学校の授業や文化祭、イベント、農業体験で活用している。

**問** 町村合併の際に環境ゾーン、健康福祉ゾーン、スポーツ歴史ゾーン、文化・学習ゾーンなど慎重に審議されてゾーニ

退するのが経済の理論である。跡地の利用も並行していかなければ町民の皆様が納得する学校統合という目的は達成できないと思うが…。

**町長** 統合のいろんな見きわめをしてできるだけ早い段階に整理したい。

**問** 歳出の引き締めであるが、平成十九年度の最終補正予算をみてみると減額予算が多くある。努力した成果なのかもしれないが、見通しが甘い点はないのか。これから先厳しくやっていけるのか。

**町長** 当初の見きわめをきちんとやるように努力し、職員を指導していきたい。

ングが設定されている。

中学校統合で廃校となれば地元の意向を汲んで、中学校の校舎をグレードアップして文化財の常設展示場として、活用できないか。

**町長** 合併の時のゾーニングは地域の活性化維持のため必要で、よく考えられていると認識している。須恵地区の文化学習ゾーンが(古民具の展示に)良いんじゃないかと思う。

中学統合に関し、跡地や建物を含め、色々と検討すべきと指摘をうけています。もう少しどんな形で進めるか検討する時間を与えて頂きたい。



## あさぎり町農業振興計画の策定

具体的な強化策を盛り込んだ実効性のある計画を策定する



山口 和幸 議員  
(免田)

問 町の基幹産業である農業の元気のあるなしが、町づくりに多大の影響を及ぼすことは町民の認識であります。合併後の農業産出額及び総所得の推移について聞きます。

産業振興課長 合併三年前の産出額が八十七億二千万円、合併時の十五年度が八十億四千万円、

十八年度が七十一億二千万円であり、算出額が大幅に急下降線をたどっており、大変厳しい状況と認識しております。

税務課長 住民税を課税する上での農業の総所得については、十六年度から十八年度まで、毎年相当額落ち込んでおります。

問 ただ今、産業振興課長、税務課長の報告を聞かれて、町長はどのように感じられましたか。

町長 本当に予断を許さないくらい厳しいものであり、真剣に向き合わなければならない最重要課題だと認識しております。

問 作物毎や営農形態毎の作付面積、飼養頭数、生産量、産出額、所得の目標、目標を達成するため

町の根幹に関わる文書を町民に配布又は販売することのできるような制度の導入は出来ないか。

豊永 隆一 議員  
(上)

できるだけ開示をする

## 情報公開は町の責任だ

問 徹底して情報公開をし、行政も町民も同じレベルで町

政を考えることが大切だと思う。町長は交際費を自らホームページで公開するなど情報公開に対して進歩的だ。

そこで、予算書・決算書・事業計画書・中期財政計画書等、

の支援策等をどのようにするのかを記述した農業振興計画はありますか。

産業振興課長 町の基本構想・基本計画・実施計画とありますが、農業バージョンの実施計画はありません。

問 今後あさぎり町の農業をどのような方向に誘導していくのか、作物毎や営農形態毎の作付面積、飼養頭数、生産量、産出額、所得の目標、目標を達成するための具体的な支援策を盛り込んだ、実効性のあるあさぎり農業振興計画を農家の意見を聞いて早急に策定すべきだと考えますがいかがでしょうか。

町長 農家の意見等を踏まえながら功している。ニセコ町では「町づくり基本条例」が誕生して

いて、町の情報公開が義務化されているし、「町に関わる重要な事項については、直接、住民の意思を確認するため、町民投票の制度を設けることが出来る」と積極的な内容になっている。我が町の情報公開条例も住民投票に進めるように改正すべきだと考えるが。

総務課長 「町づくり基本条例」については承知していません。現在の本町の条例で十分役を果たしていると思う。後ほど、基本条例と検討・協議させていただきたい。

がら、目標値をどのように設定するのか、具体的にどのような強化策ができるのかを盛り込んだ農業振興計画を策定します。

## 子育て支援に奨学基金の活用

問 地域経済の冷え込みによって子育てに苦慮している家庭が数多くあります。そこで奨学金が六千五百万円、まだ運用されていないと思うので、貸与金額、貸与期間等を見直しはできないか。又、青少年の育成、農林業の後継者育成のためにも活用できないか検討できませんか。

教育長 中身について検討する余地はあるので、利活用が広がるようPR活動ともに研究します。

## ブロードバンドの推進を

問 未だに、ブロードバンドが来ていない地区が町内に存在する。国からの補助は無いのか。調べたか。

町長 町内のインターネット環境は非常に遅れている。幾つかの国の支援策もあるので、年度内を目標に、町のブロードバンド構想の骨格をまとめようと思っている。

問 ブロードバンドの手法はいろいろあるが、町内でこれだけ格差が出るのは問題だ。一日も早い改善に努力を。

## ◎安定した農業所得を目指した「ビジョン」とは

### 国の政策を受け止めながら取り組む

永井 英治 議員

(免田)



問 農業は、国の政策に左右される所が大きく、地方自治体はおのずと限られた施策になるものと思われるが、後期基本計画の中の「安定した農業所得の確保」に向けたビジョンについて伺う。

町長 現在、国の政策による

## ◎農林・商工連携による、所得向上や雇用確保について

### 農商工連携の協議会設立の動きが出てきた

小見田 和行 議員

(岡原)



問 原油価格を含め、肥料・飼料等も暴騰し、生活用品の値上がりの中、地方経済の疲弊に拍車がかかる事が心配される。国に改善策を要望するとともに、町として出来る対応策を打ち出すべきだと思う。この町に眠る地域資源を生か

集落営農等難しい課題は多く

あるが、農家の実体を聞きながら取り組む。後期五カ年計画の農業政策ビジョンに細かく肉付けしながらやっていく。限られた予算の中で、町とJAと一体となって販路の拡大等で元気が出ている所をモデルにしながら取り組む。

問 あさぎりブランドの現況と今後の取り組みは。

産業振興課長 現在二十一品目の農産物の部会の中で五品目があさぎりブランドの認証を受けている。今後ブランド化を高めて売れる農産物を

し、農林商工連携による商品開発を進め、新しい産業を創り出す事も、地域全体の所得の向上、雇用を確保する面から、より重要と思うが、取り組みについて問う。

産業振興課長 昨年度末に「中小企業地域資源活用促進法」が施行され、あさぎり町において、本年六月八日に農商工連携に向けた事前打ち合わせがなされた。

問 この町をどの様に完成させる、また未来をどう発展させるのかという事を、住民みんな考えていくことも、この地方の危機を乗り越える手

目指していく。

問 人吉球磨を一つにしたブランドの考えはないか。

町長 他町村、JAと協力しながら議論もするが、あさぎりブランドは残していきたい。

### ◎学校給食の安全性について

問 学校給食の食材の地元産の割合と外国産の割合は。

教育長 食育基本法のもとで安全性については最大限に考慮した給食経営に心がけている。

教育課長 一〇〇%地元産は、米、牛乳、小ネギ、シイタケ、豆腐、あげ、卵、イチゴ、メ

法だと思う。この事について広く住民の皆様にも、アイデア等を論文、作文として募集してみてはと思うが、考えを問う。

町長 きびしい現状で、さまざまな意見を町民、皆様から吸い上げるのも、非常に大事なテーマと思っているので、実施する方で検討したい。

問 農業センター構想について、穀類がバイオエタノールの原料となり、経済発展著しい国の消費が急速の増え、その他、気象等の影響で食料不足の声が高まりつつある。金さえ出せば、世界のどこ

ロン。購入費の割合で全体の二十七%。外国産は十三%。現在、又今後とも安全性第一に努めていく。

### ◎企業誘致について。

問 企業誘致の現況と、PRの方法はどうしているのか。

町長 人吉球磨合わせて気運が高まっている。現在、パンフレットも作成した。

問 PRに優遇措置は入っているのか。

町長 国県町の優遇制度はある。詳細は書いてないが、状況によって応談する。

からでも食料が買えた時代は終わったと思う。国内の自給率を上げなければならぬし、国内農産物への消費者ニーズも伸びる事が予想される。あさぎり町の農業現場は五十五%が六十歳以上の方々が担っている。高齢化が急速に進んでいる。農業生産基盤の強化のためにも構想の具現化を望むが、進ちよく状況はどうなっているか。

産業振興課長 集落営農組織の設立目的と重なる部分があるので引き続き、あさぎり地域農業振興協議会で検討していく。



◎設計単価から6%の歩引き、見直すべきでは

何%よりもっと大きな課題がある



溝口 峰男 議員  
(上)

問 一般財源を確保するため、資源有価物の販売方法の見直しを指摘したが、検討したのか。  
町長 〓 アルミ缶、スチール缶とともに四〜五年前の二倍位の価格になっている。収集に課題もあるが、広域行政組合の動きを見ながらルール化さ

◎森林の涵養保全と林業振興について

水源지는非常に重要な森林



奥田 公人 議員  
(岡原)

問 〓 森林は木材を供給すると言う経済的な面だけでなく、山地災害の防止や水源の涵養及び環境保全整備であると考へる。私たちの生活に必要な可欠な水は、豊かな緑からの贈り物であると言われている。未来永劫にわたって町民の皆

れた中で取り組んでいく。

問 〓 じめに一生懸命ゴミ分別に努力している者が損をする仕組みは是正しなければならぬ。

環境整備課長 〓 格差があるのはたしかです。

町長 〓 広域行政組合の理事でもあるので、方向づけをしていきたいので少し時間をいただきたい。

問 〓 公共事業の予定価格の決定を、町長は設計単価から6%も歩引きをしている。これだけ大きな歩引きをして地場産業育成になるのか。

町長 〓 地元企業が非常に厳しい環境にあることは認識し

さんへ良質の水、すなわち飲料水を供給する為には、水源周囲と上流一帯の環境を良好に保全する必要があると思

町長 〓 現在町内に十九カ所の水源がある。地下水を利用してある水源が十六、河川水を取水しているのが三つの水

源と成る。特に河川水を取水している水源周囲の森林状況は、上地区川南水源、上流の森林面積は二二七ヘクタール、約八六%。上地区の塚之脇、清水、上西、榎田、下西の分収林が三三、一六ヘクタール、約十四%。この上地区のもう一つ川北第一水源の上流の森林面積二〇三ヘクタール公有林

ている。一方財政面も担っている。一方財政面も担っている。一方財政面も担っている。

問 〓 国から予定価格の設定等についての指導があっているのではない。

総務課長 〓 今年の四月に通知がきています。歩引きによる予定価格の不当な切り下げは厳

に慎むことという内容である。問 〓 他町村を含め今日迄「あ

さざり町」も〇・五%の歩引きできている。大幅な歩引きは、建設業等にとって死活問題である。見直すべきではないか。

町長 〓 予定価格をどうするかは答えられない。価格の何%よりも、もっと大きな

が六六・七六ヘクタール。岡原地区第二水源の森林面積二二・八九ヘクタールで、すべて公有地となる。

問 〓 水源周囲と上流の山林を町有地として管理する為に町としては民有地を購入して一括管理した方が大変理想的と考へる。将来にわたって購入される計画はないか。

町長 〓 水源地の森林を維持管理していくと言うことが、非常に大事ではないか。町で山を買って独自に管理すると言

うのは、現段階では検討していない。問 〓 協同組合くまもと製材では、初年度は原木五万立方メートル、二〇一〇年度、二

課題が建設業の皆さんにはあると思うので、勉強会等も一緒にやりたいと思っている。

問 〓 社会福祉協議会の事務局長は、大変重要な役職であるが、四月から不在である。早急に職員を派遣すべきでは。

町長 〓 職員と外部(民間)からを検討し、一〜二ヶ月位をめぐりに方向決めをする。

一、庁内の人事異動のあり方。二、乗り合いバス路線の見直し。

三、深田高山体育館裏の境界について

四、町長の公約の整合性についてを質しました。

年後には年間一〇万立方メートルを製材する計画とありますが、当然あさざり町にも出荷の依頼があると思うが、町有林や上財産区より協同組合くまもと製材に供給させる原木の出荷計画はどうなっているのか。

産業振興課長 〓 出荷計画については、今年が五万二一〇立方メートル。二一年度が七万二、三一五、二二年度が九万五、三〇〇立方メートル。このうちのあさざり町分が八〇〇立方メートル、二一年度一、〇〇〇立方メートル、二二年度一、一〇〇立方メートル。



## 第2回 定例会(6月)

### 条例改正

#### ふるさと納税が実現化

「あさぎり町ふるさと寄附条例の制定」

この条例は、個人又は団体から寄附金を募り、その寄附金を財源(基金の創設)に事業を実施し、活力に満ちたふるさとづくりを行うものである。

問Ⅱ寄附金の使途については寄附者の意向が反映できるのか。

答Ⅱ基金の状況、使途、事業の実施内容等を寄附者に報告する。

#### 国民健康保険税の税率アップ

「あさぎり町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

平成十八年度から十九年度の医療費の伸びが六・一％となっており、さらに二十年度には四・二％の伸びが見込まれる事を考慮すると、条例の改正が必要となるものである。

## 1億1千34万2千円を追加 国民健康保険補正予算

### 主な補正内容

一般被保険者療養給付費

九千五百万円

退職被保険者等療養給付費

六百七十七万八千円

一般被保険者高額療養費

一千八百九十八万三千円

退職被保険者等高額療養費

△ 九百六十六万三千円

老人保健医療費拠出金

八十六万七千円

後期高齢者支援金

△ 二百八十二万三千円

### 主な提案理由説明

被保険者療養給付費につきましては、十九年度の実績が一年分出ました関係で、今年度の見込み額を算定し補正をお願いするものです。

# 1千6百万円の追加 老人保健医療特別会計

## 主な補正内容

医療給付金 1,500万円

### 主な提案理由説明

平成20年度は3月分の医療費が対象になるが、月おくれの分、錯誤等がある場合を想定している。

# 5千4百2万2千円を追加 一般会計補正予算

## 主な補正内容

町税過誤納還付金

一千二百万円

国民健康保険特別会計繰出金

三千万円

保育所臨時雇用賃金

二百五十七万四千円

保育所調理員委託料

百七十五万八千円

食の安全安心確保交付金事業補助金

二百三万円

川辺川土地改良区運営補助金

五十一万三千元

公有財産購入費

百二十四万円

補償費

百五十万円

### 主な質疑

問Ⅱ 食の安全安心確保交付金事業補助金の使い道は

答Ⅱ 農産物生産団体の農場管理マニュアルを作成したり、研修会費用、土、

水、農産物あたりのいろんな研究調査をするのを対象としている。

### 主な提案理由説明

町税過誤納還付金は年度間の所得変動による住民税の還付金です。

国民健康保険特別会計繰出金三千万円の増額は、全員協議会の中で説明したとおり激変緩和の措置分です。

保育所の臨時雇用賃金、調理員委託料は、園児数等が確定したため。

食の安全安心確保交付金事業補助金は、国からの補助金を生産団体にあさぎり町の予算を通して交付するいわゆるトンネル補助金です。



上第一保育所

# 第一回定例会（三月）

第一回定例会は三月十日から十八日までを会期として開かれました。

平成二十年度に向けた町長の施政方針が述べられ、二十年度一般会計及

び特別会計の当初予算案、平成十九年度の補正予算案や、国民健康保険税条例の一部改正条例などが提案され、慎重な審議の結果、原案通り可決しました。

また、人事案件として副町長選任同意がなされました。一般質問には八名が登壇し、活発に執行部との応酬がありました。

なお、人事案件として副町長選任同意がなされました。一般質問には八名が登壇し、活発に執行部との応酬がありました。

県産材の需要拡大を図る。駅前開発事業は住民との合意形成に向け一年先送りし、交差点改良事業を先行実施。グリーンツーリズムを推進する。

## 町長の「施政方針」

・あさぎり町総合計画後期五カ年計画を立て

具体的推進に当たる。

◎一般会計予算編成の基本的な考えとして財政基金十億九千万円を維持していく。地方債残高については六億円削減を目標とし健全財政確立のため、将来の予測を立て、現実を受け止めていくようにしていく。

◎危機的な国保財産を再生するため国保税率の見直しを検討する。

◎後期高齢者医療制度がスタート。生活習慣病に対する特定検診事業を実施する。

◎公立多良木病院増改築を進める。子ども医療費について（小学六年生まで）公費負担を実施していく。

◎上球磨消防指令システム及び広域防災行政ネットワーク整備に取り組む。

◎農業所得の安定確保に努め都市と農村の交流や高齢化する農村社会の再生を図る。

◎固定資産税の公平公正を期するため家屋の全棟調査を継続する。

◎森林の多面的機能の維持と

◎道路、歩道の整備、上川北地区水道施設整備及び下水道接続の推進を図る。

◎ゴミの減量とリサイクルの推進、分別収集の徹底を図る。

◎中学校統合については引き続き調査研究を進め五月には町の方針を示す。

◎1：1運動の取り組みを進め「元気のあるあさぎり町」を目指す。

## 新たに可決制定された条例

あさぎり町後期高齢者医療に関する条例。

（後期高齢者医療制度実施に伴い、町が行う事務について定めるもの。）

あさぎり町農村公園設置条例。

（免田地区の四ヶ所の農村公園を条例化するもの。）

あさぎり町副町長選任に同意

あさぎり町副町長に徳永正勝総務課長の選任について同意されました。



## 平成20年度一般会計・特別会計当初予算

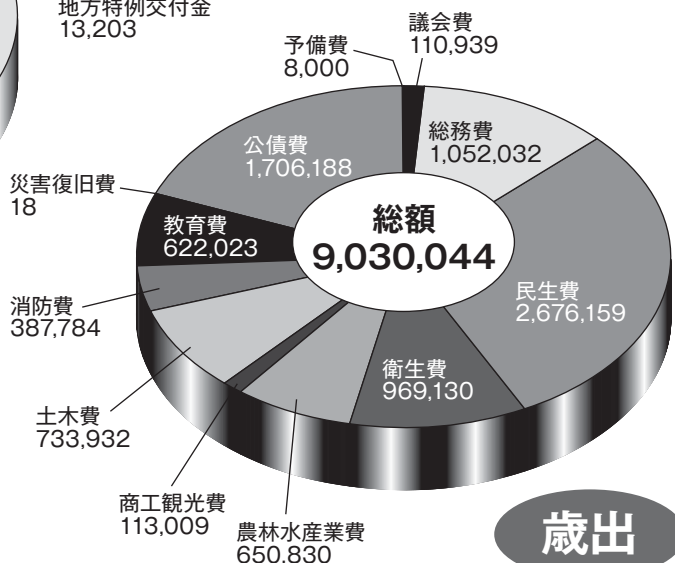
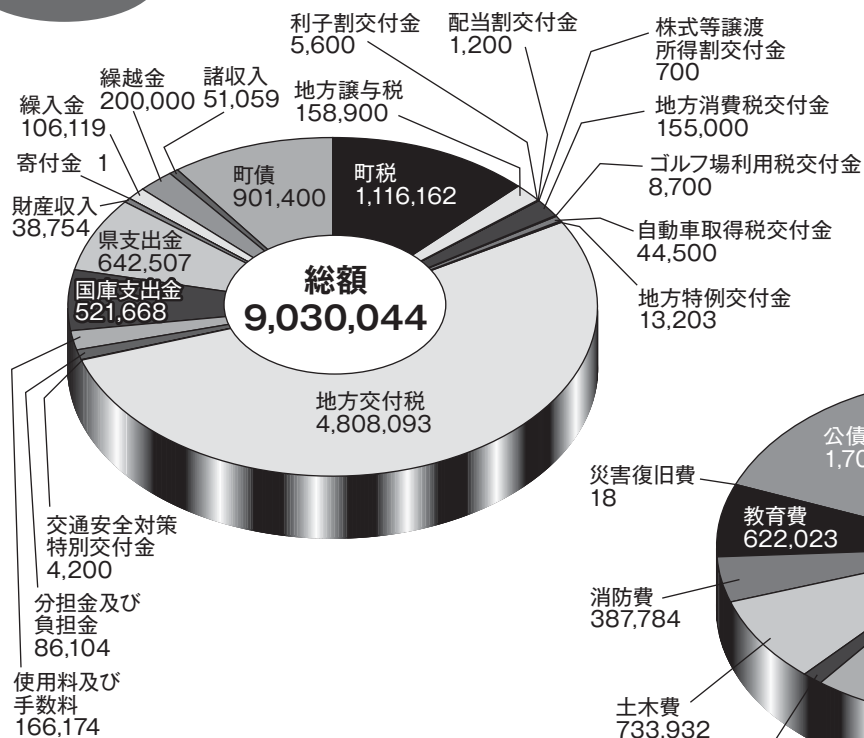
会計名	平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	比較	
			増減額	増減率(%)
一般会計	90億3,004万4千円	81億979万7千円	9億2,024万7千円	11.3
土地取得特別会計	1億2,883万4千円	1億1,339万円	544万4千円	4.4
国民健康保険特別会計	22億7,995万1千円	21億6,500万円	1億1,495万1千円	5.3
老人保健医療特別会計	1億9,880万1千円	19億3,100万円	△17億3,219万9千円	△89.7
後期高齢者医療特別会計	1億5,769万9千円	-	1億5,769万9千円	-
介護保険特別会計	14億566万4千円	13億5,726万円	4,840万4千円	3.6
介護サービス特別会計	3,517万1千円	3,424万8千円	92万3千円	2.7
球磨郡障害認定審査事業特別会計	1,851万3千円	2,235万2千円	△383万9千円	△17.2
簡易水道事業特別会計	7億38万5千円	3億5,816万4千円	3億4,222万1千円	95.5
下水道事業特別会計	10億6,736万2千円	7億4,433万7千円	3億2,302万5千円	43.4
上財産区特別会計	6,240万円	5,170万円	1,070万円	20.7
水道事業特別会計	7,887万7千円	8,521万7千円	△634万円	△7.4
合計	151億6,370万1千円	149億8,246万5千円	1億8,123万6千円	1.2

※ 水道事業特別会計については、歳出額を記載しています。

## 一般会計 平成20年度 当初予算

(単位：千円)

### 歳入



### 歳出

町

民

の

声

## 青年団を理解して!!

### そして協力を!!

深田 濱田 美智子

みなさんは、青年団をどう  
思っていますか？

私が青年団に入ったのは、  
七年前（あさぎりが誕生す  
る前年）です。旧深田村でも  
十名程度の団員がいました。  
ソーメン販売やクリスマス  
ケーキ販売、各種祭りや行  
事の手伝いなど少ない人数  
でしたが、楽しく活動して  
きました。村民の方も快く  
協力していただき感謝する  
ばかりでした。そしてあさ  
ぎり町になり「どうなるの  
かなあ」と思っていました  
が、団員数は減るけれど全  
国大会へ行ったり祭りに参  
加して手伝ったりと青年団  
をアピールしてきました。

しいというのが現状です。  
応援の声の一方で、活動を  
良く思わない声も聞こえま  
す。私達は何の為に活動を  
しているのかと考えたとき、  
自分のためではなく町のた  
めに何でもしてきたつもり  
です。各種委員会が、四、五  
つあるので入り、仕事を休  
んで会議に出たりと色々な  
ことを犠牲に行っていました。  
それをわかってもらえない、  
というのとはとても心が痛  
いです。

私は現在、郡の役員と県  
青年団の役員をしています。  
役員の研修の中で「地元  
青年団を大切にしてこそ郡  
や県で働くことができるの  
だ」という話がありました。  
でもいろいろな声を聞く中  
で、今まで青年団がやって  
きたことは「自分達だけの  
こと」と思われていたのだ  
と思います。だから理解  
してもらえないのもっとも  
とアピールしていかないと  
いうことです。ね。町の事  
業に積極的に参加し協力し  
てそしてボランティアや清  
掃活動などを通して町民の  
方と交流しながら理解して  
もらえるよう、さらなる努力  
が必要なんだと思いました。



町外にアピールするの  
もいいですが、地元を理解  
してもらえないようこれか  
ら頑張っていきたいと思  
います。

家で退屈している若者  
よ、青年団に入って町のた  
めに活動しませんか、まっ  
たです。

## 編集後記

子供達の田植体験学習が新  
聞で紹介され、ほのぼのとし  
たものを感じ、この体験が生  
きた教育となることだろうな  
と思っているところです。

さて今年は町議会議員改選  
の年、二十一名定数は十八名  
に減り激戦となりました。五  
名の新人議員が誕生、なんと  
六名の広報委員に五名全員が  
選任されたのであります。明  
朗で個性豊かな人達ばかり、  
アイディア豊富な広報誌にな  
る事と思います。

「知る権利」知らせる責任」  
に基づき、まちづくりに対す  
る参画意識の高揚を図る目的  
を持って編集に努力していま  
います。皆様のご指導をよろ  
しくお願い致します。 洲田



広報委員  
左より 永井・愛甲・皆越・洲田・山口・緒方